

漁川ダムの防災操作と効果 (平成24年10月28日)

～漁川の水位を約1.6m低下～

- 平成24年10月28日からの雨により、石狩川水系漁川ダム上流域では総雨量77.8mmを観測し、ダムへの最大流入量は約100m³/sの流入量を記録しました。
- 今回の防災操作において、ダムでは約153万m³(札幌ドーム約1個分)の水を貯留し、下流の河川へ流す水量を最大で89m³/s(約9割)低減させました。
- この結果、ダム下流の日の出橋水位観測所地点(恵庭市日の出橋付近)では、水位を約1.6m低下させることが出来たと推測されます。

